

上杉神社 稽照殿  
重要文化財

服飾類 (伝 上杉謙信・景勝所用)

# 修理記念 特別展示

令和6年 7月13日(土) ~ 11月25日(月)

重要文化財

「白地雲龍平絹彩色陣羽織」

7.13(土)~7.31(水)

ギャラリートーク 7.21(日)



重要文化財

「黄地平絹流水梅扇面  
描絵胴服」

8.2(金)~8.20(火)

ギャラリートーク 8.18(日)

重要文化財

「明国割付 上杉景勝宛 一幅  
明冠服類(文禄五年上杉景勝受贈)一括」

8.22(木)~9.10(火)

ギャラリートーク 9.8(日)



重要文化財

「茶地竹雀丸紋  
綾片身替胴服」

9.12(木)~10.8(火)

ギャラリートーク 9.29(日)

重要文化財

「金銀欄緞子等縫合胴服」

10.10(木)~10.29(火)

ギャラリートーク 10.27(日)



重要文化財

「鑓銘 城州理忠作 文禄二年十二月日」

10.31(木)~11.25(月)

ギャラリートーク 11.17(日)

休館日

8.1(木) / 8.21(水) / 9.11(水) / 10.9(水)  
10.11(金) PM / 10.30(水) / 11.13(水)

開館時間

9時30分~16時 (入館は15時45分まで)

入館料

一般 700円(650円) 高大生 400円(350円)  
小中生 300円(250円) ※()は20名以上の団体料金

※服飾類は脆弱であるため展示期間が短くなります。ご了承ください。

※それぞれの展示期間には、修理外の服飾類はじめ、上杉謙信、景勝、鷹山関連の甲冑・刀剣・陶磁器・絵画・古文書等収蔵品の展示を行っています。



## 上杉神社 稽照殿

〒992-0052 米沢市丸の内1-4-13  
TEL 0238-22-3189 FAX 0238-24-5775(上杉神社 社務所)

シンポジウムの詳細は、  
ホームページまたは裏面を  
ご覧ください。



<https://www.uesugi-jinja.or.jp/keishoden/>

上杉神社 稽照殿 検索

主催/宗教法人 上杉神社



# 服飾類 (伝上杉謙信・景勝所用) 修理記念 特別展示

上杉神社は明治4年(1871)の創設以来、上杉家より御宝物の寄進をたびたび受け、保存管理を行ってきました。その中の「伝上杉謙信・上杉景勝所用服飾類」は、昭和24年(1949)、上杉神社の宝物となり、昭和36年(1961)、重要文化財に指定されました。服飾類に入っていた明冠類は、平成30年(2018)、明国割付を本指定として冠服類とともに歴史資料分野の重要文化財となりました。現在、重要文化財「伝上杉謙信・上杉景勝所用服飾類」は98点(附10点を含む)です。平成27年(2015)から文化庁の指導のもと、保存状況の全点調査が進められ修理の優先順位を検討しました。

第1期の修理は、「明冠服類付属品」3点1件と「白地雲龍平絹彩色陣羽織」「黄地平絹流水梅扇面描絵胴服」「茶地竹雀丸紋綾片身替胴服」「金銀欄縵子等縫合胴服」4領の服飾で、令和元年(2019)から開始されました。「明冠服類付属品」は2年間の修理を経て、令和3年(2021)3月に戻りました。残りの4領が5年間の修理を終え、本年3月に納品となりましたので、ここにお披露目いたします。修理とはいえオリジナル性を重んじたもので、脆弱な状態に変わりはなく、4領は今後衣箱にかけての展示はできません。また、長期の展示も行えないため、期間限定となりますことをご理解ください。

修理事業は、文化庁・山形県・米沢市の指導・協力と読売新聞社「紡ぐプロジェクト」の助成を得て、株式会社松鶴堂が行いました。500余年前の見事な服飾類が、現代まで残った奇跡をご覧ください。



その他の主な展示資料

- 重要文化財 無銘 伝片山一文字 拵付こしらえ
- 重要文化財 薄浅葱花文緞子胴服うすあさぎはなもんどんすどうふく
- 重要文化財 紫白腰替竹雀紋綾小袖むらさきしろこしがわりたけがねもんあやこそで
- 重要文化財 白綾竹雀紋小袖しろあやたけがねもんこそで
- 重要文化財 紫綾金泥両界曼荼羅図しりょうきんでいりょうかいまんたらず
- 大太刀 銘 備州長船盛重びしゅうおさふねもりしげ
- 本小札浅葱糸素懸威胴丸ほんこせねあさぎいとすかけおどしどうまる
- 勝色威二枚胴具足かちいろおどしにまいどうぐそく
- 琵琶 銘 朝嵐
- 直江韻書なおえいんじよ
- 上杉謙信所用
- 上杉鷹山所用
- 直江韻書

## 重要文化財 服飾類 (伝上杉謙信・景勝所用) 修理記念 シンポジウム

先着80名 申し込み不要

日時・会場	10.19(土) 13:30 ~ 於 伝国の杜2階大会議室
参加費	1000円 (稽照殿入館料を含みます)
基調テーマ	「文化財(服飾類)の修理とは」

- 文化財(工芸品)の保護と活用  
文化庁文化財第一課文化財調査官(工芸品部門) 多比羅菜美子 氏
- 上杉家伝来 戦国武将の服飾—その意匠性と貴重性—  
文化庁文化財第一課文化財調査官(工芸品部門) 高木香奈子 氏
- 重要文化財 服飾類(伝上杉謙信・景勝所用)4領の修理  
株式会社松鶴堂修理技術部染織担当課課長 依田尚美 氏
- パネルディスカッション  
「今後の保存・活用、文化財の継承への展望」  
コーディネーター 上杉神社稽照殿館長 角屋由美子

※稽照殿チケットは受付時にお渡しします。  
 ※シンポジウム終了後、稽照殿でギャラリートークを行います。(閉館は17時30分、チケットは会期中有効です)  
 ※重要文化財 服飾類(伝上杉謙信・景勝所用)の修理をめぐる、指導行った文化庁調査官と実際修理にあたった技術者からお話を伺い、今後の保存・活用と文化財継承について考えます。  
 ※詳細については、HP等でお知らせします。

## アクセス

- JR 米沢駅から2km
- 市内循環バス 「上杉神社前」下車
- 学園都市線 「上杉神社前」下車
- 東北中央自動車道 米沢中央 IC から約4km

